



茶の香だより

第26号

令和4年6月1日発行

発行元：武蔵村山市立第五中学校

学校運営協議会

編集：学習部

「今年度のコミュニティ・スクール」

武蔵村山市立第五中学校

校長 榎戸 千代子

本校のコミュニティ・スクールは、「学習・生活・地域連携」の3つの部で、例年活発な活動をしていただいております。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた学校行事を十分に実施することができませんでした。しかし、昨年度は「地域連携部」に御協力をいただき、密を避け講座を縮小して、2、3年生で「五中フェスティバル」を実施することができました。また、2年生の「職場体験」も一昨年度より代替として、学校運営協議会委員や地域の皆様に講師にお招きし、講話をしていただく「プロから学ぶ会」を実施しています。委員や地域の皆様の御支援、御協力に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスは依然として終息には至らず、先の見えない状況が続いています。しかし、今年度も、皆様の御理解、御協力のもと感染症防止対策を継続しながら、なるべく学校行事が実施できるよう進めてまいります。7月には昨年と同様に2、3年生で「五中フェスティバル」を開催する予定です。また、夏季休業中には例年「学習部」でサポートいただいている武蔵村山高校と連携した1年生の夏季補習教室を実施する予定です。さらに、「生活部」では、校庭の芝刈りや防犯パトロール等を計画していただいております。第五中学校が地域の皆様に支えられていることを大変ありがたく思っています。今後とも学校運営協議会の活動に御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

「御挨拶」

副校長 二階堂 裕文

今年度から第五中学校に赴任した二階堂裕文です。どうぞよろしくお願い申し上げます。赴任してまだ2ヶ月しか経っておりませんが、本校は学校運営協議会の方々をはじめとする保護者や地域の方々に支えられているのだということを感じます。ありがとうございます。昨年、一昨年とコロナ禍で以前のように行事を行えませんでした。今年度は活動ができるよう準備しております。まだまだ従来通りという訳にはいきませんが、今までに無かったアイデアを出せるチャンスの時でもあると思います。今年度も生徒たちの笑顔と健全育成のために御尽力いただけると助かります。よろしくお願い申し上げます。

「精一杯務めさせていただきます」

第五中学校 学校運営協議会会長 宮崎 保

令和4年度武蔵村山市立第五中学校学校運営協議会の会長に任命されました宮崎と申します。微力ではございますが、精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

未だに、新型コロナウイルスの影響で、今年度も様々な行事が制約の多い中での活動となりますが、盛り上げていきたいと思っておりますので、地域、教職員、PTA 及び学校運営協議会の皆様の御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「活動 10 年目を迎えて」

第五中学校 学校運営協議会副会長 堀内 一弘

今年度より副会長を務めさせていただくこととなりました。五中学校運営協議会には準備会より携わっており、今年で 10 年目となります。最初は何をするのか手探りで始めましたが、この 10 年で各部会の活動も毎年少しずつ洗練されており、その活動も多岐に渡ってきました。

PTA とは違いメンバーは地域の方と先生方で構成されており、色々な地域や年齢の方と意見交換が出来る場となっています。皆さんいつも真剣に五中の為に、生徒の為に頑張って活動していますが、表だって活動している訳ではありませんので、皆さまが目当たりにはあまりないかも知れません。これからも学校と生徒の黒子として微力ですが活動できればと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

「新年度を迎えて」

地域連携部 堀上みち子

今年度も地域連携部長を務めさせて頂くことになりました。昨年度はコロナ禍でありながらも感染対策を取って五中フェスティバル、プロから学ぶ会を開催できましたこと、皆さまの御協力のおかげと感謝いたします。今年度も感染対策を引き続き取りながら、出来る限り、生徒さん達の学びに繋がりますよう、地域の皆さまの力をお借りして、行事を開催出来たらと思っております。変わらぬ皆さまの御協力をお願い申し上げます。



「今年度の生活部」

生活部 加園 一茂

昨年度に引き続き生活部の部長を務めさせて頂くことになりました加園です。

さて、生活部の主要事業の 1 つであります五中校区防犯パトロールは今年で 12 年目となりました。この数年、コロナの影響で年に数回しか防犯パトロールを行うことが出来ませんでした。

防犯パトロールの目的は勿論児童・生徒、そして地域の安全の為にありますが、他にも五中校区の各団体が顔を合わせ横の繋がりを持ち、地域の絆を強くすることでもあります。

地域の絆を強くすることは結果、安心して暮らせる地域を築くことになるからです。

今年度は無理のない範囲で出来る限り防犯パトロールを行いたいと思います。引き続き皆様の御協力、宜しくお願い申し上げます。

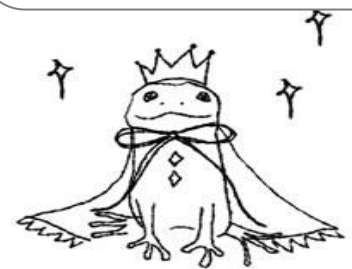
「新年度の学習部」

学習部 高橋 圭子

令和 4 年度の学習部の活動は、三本柱で実施してまいります。

①夏季補習講座学習サポート事業。②進路面接練習。③茶の香便り年三回の発行です。

前年度にあがった改善点等を踏まえて、より良き実施となるよう、微力ではありますが、学習部一丸となって行ってまいります。御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。



【武蔵村山の昔話】

学習部 安部 朋子

今回は今、NHK で放送されている大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」の舞台になっています鎌倉とのつながりです。

武蔵村山の岸の家々の檀那寺（故人や御遺族が所属している寺院の事）である禅昌寺・福昌寺は共に禅宗の寺院で”鎌倉の建長寺”を大本山としているそうです。本山に対して各々の名産物を年に一度納めるしきたりになっていて、現在でも武蔵村山市の特産である「お茶」が当時から武蔵村山の名産物として納められたそうです。製茶の終わった 6 月下旬から 7 月上旬にかけ鎌倉建長僧堂（修行道場）から托鉢僧の僧衣を纏い編笠にワラジ履きで泊まりがけで訪れた様です。

当時どのくらいの距離を歩いてきたのでしょうか？

そんなエピソードをもつ鎌倉とのつながりを歴史の勉強をする時にも是非思い出してください。

『武蔵村山市史調査報告書第二集／武蔵村山の民族 その 1』より